

ISSA 年次総会 2022 のご案内

大会テーマ 「ポストコロナ下の社会の変化にどう立ち向かうか」

期日 2022年 11月 26日 13:00～15:00

開催方法 オンライン(Zoom) 加盟 6 団体から各 1 名ずつ発表

参加は以下のボタンからアクセスしてください。(事前登録不要)

<https://us02web.zoom.us/j/83315892321?pwd=YnBEaGt2V0ZZRFJqYUeZMmJOMnFtdz09>

ミーティング ID: 833 1589 2321

パスコード: 499609

参加費:無料

言語:英語(通訳なし)

社会科教育は、社会の変化に応じて常に改革していく必要がある。しかし、その改善の視点は国によって異なる。また、同じであっても、開発されるカリキュラムや単元が異なる場合がある。本シンポジウムでは、ポストコロナを見据え社会の変化に対応した社会科のあり方について検討する。国によって異なる面もあれば、同じ面もあるだろう。社会科の多様性を議論しながら、社会科の本質を明らかにしていきたい。

発表者

(1) ポストコロナ下における教授学習の変化

Dr. Wasino UNNES (APRIPSI, スマラン州立大学, インドネシア)

コロナ下からポストコロナに至る社会科教育の変容 地域の知恵とグローバルな視点
ーポストコロナの社会科教育ー

Dr. Jisu, PARK (KSSA, ケント州立大学 客員研究員, 韓国)

ビッグデータ解析による韓国における東南アジア系への偏見の分析
ー社会科教育に着目してー

(2) ポストコロナに関わる学習(授業)

周星星, 桑原敏典 (JERASS, 岡山大学大学院, 岡山大学, 日本)

社会の分断と対立が深まる中での意思決定学習理論の継承と革新
ー脱炭素社会の実現を目指した社会科授業開発を事例としてー

岩橋嘉大 (ESSDRA, 兵庫教育大学連合大学院, 日本)

現代的な諸課題から望ましい未来を構想する歴史学習はどうあるべきか?
ーこれからの「国際秩序の変化と大衆社会」の向き合い方と指導ー

山本隆太 (JASS, 静岡大学, 日本)

コロナ前後の社会科教育における防災学習のダイナミクス

(3) ポストコロナ下における教師のパフォーマンス

Dr. Dong-min Lee (KASSE, カトリック関東大学校, 韓国)

地理教育における戦史の学習について

問い合わせ先 山内敏男(社会科教育研究会, ESSDRA tyamachi@hyogo-u.ac.jp)

坪田益美(日本社会科学会, JASS tsubota@mail.tohoku-gakuin.ac.jp)